

〒300-3257 つくば市筑穂1丁目10番地4 TEL:029-879-5500 / FAX:029-879-5501

檢 索

THE ORGAN OF TSUKUBA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

▲石川県珠洲市の被災のようす

檢 索

現地(災害ボランティアセンター)へ



©認定NPO法人レスキューストックヤード

茨城県共同募金会が受け付ける義援金に関しては、2ページに詳細を掲載しています。



社協からのお知らせ

Information

報告 善意の寄付 ありがとうございました

令和5年10月16日～令和6年1月15日 (順不同・敬称略)

古河ヤクルト販売(株)	162,000 円
桜ニュータウン自治会	50,000 円
レゾナック労働組合 下館支部	40,000 円
つくば市危険物安全協会 会長 飯泉喜明	32,000 円
医療法人すずらん会 さとうクリニック	30,000 円
茨城 Y M C A チャリティゴルフ大会	30,000 円
陶さくら(陶桜会、桜ポッター)	20,000 円
つくばグラウンドゴルフ連絡協議会	20,000 円
八幡神社氏子総代	12,217 円
菅原 美吉子	10,000 円
大曾根児童館	10,000 円
つくばアサーティブの会	10,000 円
(株)ヒュリカ	10,000 円

●社協では、年間を通じて寄付を受け付けています。

個人の場合は、所得税・個人住民税控除の対象となります。

クレジットカードを利用した寄付を受け付けています!

つくば市社協では、クレジットカードを利用した寄付(オンライン決済)を随時受け付けています。

手続きはインターネット上からとなりますので、つくば市社協のホームページをご覧ください。



つくば市社協 寄付

検索

【問合せ】法人運営室 TEL 029-879-5500

報告 寄付いただいた食品を活用させていただきました

令和5年度食品寄付(令和5年4月1日～令和6年1月15日)

- お米 2,514.3kg
- その他の食品 218.2kg

これらのご寄付いただいた食品は、市内にお住まいの経済的に困りの世帯に提供させていただいたほか、地域歳末たすけあい募金を活用した「歳末見舞金」の対象世帯や、必要とする市内福祉施設への配布に活用させていただきました。誠にありがとうございました。

ご寄付いただく食品については、皆様からの善意が市民の笑顔につながるよう、今後も引き続き活用させていただきます。

報告 令和5年度 赤い羽根共同募金実績報告

赤い羽根共同募金へご協力をいただき、誠にありがとうございます。

皆様からお預かりした募金は、つくば市内の様々な福祉活動や茨城県内の民間社会福祉施設などへの助成を通じ、地域福祉の推進のために活用させていただきます。

種 別	募金額
赤い羽根募金	12,365,763円
地域歳末たすけあい募金	6,538,814円
合 計	18,904,577円

(令和6年1月15日現在)

赤い羽根共同募金運動は、令和6年3月31日まで実施しています。引き続き、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

令和5年度最終実績は、ホームページにて報告させていただきます。



◆「社協通信つくば」はホームページからもご覧になれます。また、目の不自由な方のために音訳版は「つくば市朗読ボランティア けやきの会」、点字版は「並木点訳の会」のご協力を得て作成しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

◆この広報紙は市民の皆様から寄せられた社協会費、共同募金の配分金により発行しています。この印刷物は再生紙を使用しています。

募集 令和6年能登半島地震災害義援金

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、被災された皆様に心よりお見舞い申しあげます。

中央共同募金会で募集する災害義援金は、茨城県共同募金会でも受け付けています。

【受付期間】

令和6年6月28日(金) まで ※延長する場合があります。

【受入口座】

No.	金融機関等	手数料
①	常陽銀行 本店 普通 3917600	同行本支店の窓口・アクセスジェイ及びATMからの振込手数料無料
②	筑波銀行 県庁支店 普通 1213955	同行本支店の窓口からの振込手数料無料

<口座名義(①②共通)>

社会福祉法人茨城県共同募金会 令和6年能登半島地震義援金

【留意事項】

- 義援金は特定の被災県を指定することはできません。
- 義援金の配分は、被災地それぞれの関係機関で構成される義援金配分委員会において決定し、被災者に配分されます。

イベント 第23回チャレンジアートフェスティバルinつくば

チャレンジアートフェスティバルとは・・・

舞台発表や作品展を通して、障害のある方が思い思いのパフォーマンスを発信するイベントです。

今回のテーマは「みんなでつくる みんなでつながる アートと夢」。23回目となる今回も、ぜひアーティストたちの「熱」を直接感じてください。ご来場お待ちしております。

舞台発表

<日 時> 令和6年3月2日(土)
10:00～15:00(開場 9:30)
<会 場> つくばカピオホール(竹園1-10-1)

作品展

<日 時> 令和6年3月5日(火)～10日(日)
9:30～17:00(最終日15:00まで)
<会 場> つくば美術館(吾妻 2-8)



▲Facebook

▶3月2日(土)

11:00～15:00 ポニー体験乗馬(雨天中止)・物品販売
<会場> 大清水公園(竹園1-5-2)

▶3月10日(日) クロージingleイベント

12:30～13:30 筑波技術大学学生ボランティアグループによる「こども造形ワークショップ」

14:00～15:00 つくばキッズアンサンブルによる「ミニコンサート」(このほかに展示作品紹介あり)

<会場> つくば美術館

報告 令和5年度 社協会員加入実績報告

今年度も、つくば市社会福祉協議会(社協)会員にご加入いただき誠にありがとうございました。また、一般会員の募集に際しましては、区会(自治会)のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

納入いただきました社協会費は、地域福祉推進のために広く有効に活用させていただきます。今後も社協は、皆様とともに地域福祉活動を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

種 別	対 象	会費額
一般会員	市内の世帯	10,884,894円
特別会員	市内に居住する個人及び市内に住所を有する法人・団体・施設等	4,024,000円
合 計		14,908,894円

(令和6年1月15日現在)

各種会員名簿につきましては、ホームページにて報告させていただいております。



ささえあい・つくば



地域の皆様とともに支えあい活動や地域づくりをすすめるための情報紙「ささえあい・つくば」です。「ささえあい・つくば」では、「人と人との支えあい」の活動や生活支援コーディネーターの活動内容を皆様に紹介し、支えあいの文化を未来へ紡いでいきたいと思います。

第2回 テーマ別情報交換会

「災害に負けない地域コミュニティづくり ～宮城県石巻市からの声～」を開催しました!

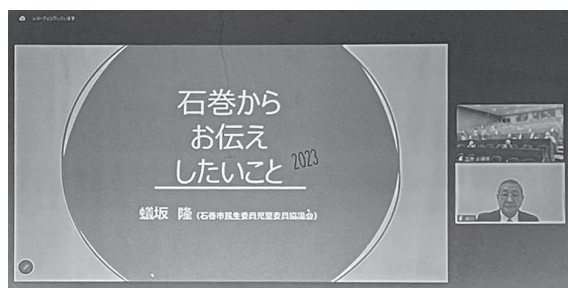
地域・圏域を越えて同じテーマに関心を持つ方が集まり、話をしたり情報交換をしたりする場として、今年度から「テーマ別情報交換会」を実施しています。その第2回目を、11月20日に研究交流センターで開催しました。

今回のテーマは「**防災**」。2011年の東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市の民生委員児童委員協議会会長 ありさか たかし 蟻坂 隆様より、オンラインにてご講演をいただきました。

いつか来る災害に備えて、震災前から地域防災の取り組みを進めていたこと。震災直後の混乱期の中で地域が連携して助けあったこと。震災の経験を経て、現在も様々な方法で住民同士のコミュニケーションの機会にご尽力されていることなど、様々なお話をお聞きすることができました。また、日頃から顔見知りの関係を築いておくことが、災害などの緊急時に住民同士が支えあう基盤となることが分かりました。

「準備に無駄はない」「避難に勝る対策はない」——神戸の経験から学んだというこの言葉が、非常に印象に残りました。

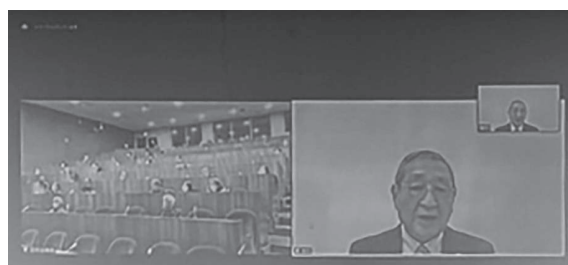
講演会後には、早速「防災マップを作りたい!」「自分たちの地域でも、防災について話し合う機会をつくりたい」という相談が寄せられました。今回の石巻の話から学んだことを、今後の地域の防災・支えあいの取り組みにつなげていきたいと思います!



▲石巻市からオンラインでご講演をいただきました



▲被害直後の様子・・・甚大な被害を受けた様子が伝わります



▲会場との質疑応答も行いました

第3回 テーマ別情報交換会のお知らせ

今回のテーマは「**子ども・子育て支援**」。地域の子どもの健やかな成長を支えるために地域にできることは何か? 皆さんと一緒に考えたいと思います。関心のある方はぜひご参加ください!

【日時】令和6年2月27日(火) 13:30～

【場所】老人福祉センターとよさと(つくば市遠東639)



荳崎圏域活動テーマ

あなたの力 あなたの心 支えあう街 くきざき



荳崎圏域だより

毎年恒例! 森の里地区のもちつき大会が大盛況!!

12月16日に、森の里公会堂で行われたもちつき大会に参加してきました。

森の里地区住民の一層の親睦等を図る目的で、年末の恒例行事として開催され、約800名の方が参加されました。つきたてのおもちはとても美味しく、皆さん楽しそうに交流していました。おもちは機械でついたものを配布していましたが、杵と臼を使ったもちつき体験も行われ、子どもたちも楽しそうでした。もちつき大会は地区役員のほか、地区のスポーツ会やソーラン愛好会、炭焼きクラブ、ふれあいサロンなどの100人近い協力者のもと運営されているとのことです。

今年は久しぶりに顔を合わせた交流会でしたが、コロナ禍では持ち帰りのみとし、人が密集しない方法で形を変えながらも開催し続けたようです。地域のイベントは継続していくことが大切であると話されていました。



▲もちつき体験会の様子



▲おもちの無料配布には長蛇の列が

住民の力を活かした地域活動（池向地区そば打ち会）

12月17日に、池向集会所で行われたそば打ち会に参加してきました。

池向地区のそば打ち名人の指導の下、私も生地を練ったり麺状に切ったりしてそば打ち体験をさせていただきました。そばのほかには焼き芋もありましたが、ドラム缶を加工した手作りの特性窯で芋を焼くなど、自分たちだけで行えるように様々な工夫が見られました。



▲そば打ちの様子



▲皆さんで交流しながら美味しく食べました

また、集会所に来られない方には訪問してそばを配布しており、安否確認や閉じこもり防止などの見守り効果に寄与していると感じました。

役割分担をしながら進めていくことが大切。自分たちの得意なことを地域に活かしながら、お互いに助け合える地域づくりを目指していきたいとのことでした。



上記2つの活動には、皆さまからの「地域歳末たすけあい募金」を活用させていただきました。

コーディネーターのつぶやき

2024年は元日の大きな衝撃から始まり、気の休まらない日々が続いてしまいました。日頃から助けあえる関係づくりや声掛けのしやすい環境づくりの大切さを思い知らされ、今回取材させていただいた地域のイベントは、そういった関係づくりにとても効果的なものだと感じました。



<3・4ページ担当者>

荳崎圏域担当

生活支援コーディネーター 小倉

〒300-1273 つくば市下岩崎2068（荳崎老人福祉センター隣）

TEL:029-876-4552 / FAX:029-876-2842

Mail:tiki@tsukuba-swc.or.jp